成ヶ島　ハマユウ

# わたしたちのマチの景況レポート No. 46

2026 年 4～6 月期実績・2026 年 7～9月期見通し

今日も　楽しい　おつきあい

淡路信用金庫

## 調査概要

１．調査時期　　：2026 年 4～6 月期実績・2026 年 7～ 9 月期見通し

２．調査方法　　：当金庫の営業店職員による「聴取り」調査

３．調査企業数　：669 社

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 製　造　業 | 151 社 | 卸　売　業 | 96 社 | 小　売　業 | 115 社 |
| サービス業 | 117 社 | 建　設　業 | 141 社 | 不 動 産 業 | 49 社 |

４．調査地区　　：当金庫事業地区（洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市）

５．分析方法：Ｄ．Ｉ．（「良い」「増加」「上昇」の回答割合 －「悪い」「減少」「下降」の回答割合）
※不変部分を除き、「良い」「悪い」のどちらの力がどれだけ強いかを調べる方法

| 指標 | 内容 | プラス | マイナス |
|---|---|---|---|
| 業況 | 調査時点での回答企業の業況 「良い」－「悪い」 | **良い**＞悪い | 良い＜**悪い** |
| 売上額 | 前期（四半期）と比較した売上 「増加」－「減少」 | **増加**＞減少 | 増加＜**減少** |
| 収益 | 前期（四半期）と比較した収益 「増加」－「減少」 | **増加**＞減少 | 増加＜**減少** |
| 販売価格 | 前期（四半期）と比較した販売価格 「上昇」－「下降」 | **上昇**＞下降 | 上昇＜**下降** |
| 仕入価格 | 前期（四半期）と比較した仕入価格 「上昇」－「下降」 | **上昇**＞下降 | 上昇＜**下降** |
| 人手過不足 | 調査回答時点での人手 「過剰」－「不足」 | **過剰**＞不足 | 過剰＜**不足** |
| 資金繰り | 前期（四半期）と比較した資金繰り 「楽」－「苦」 | **楽** ＞ 苦 | 楽 ＜ **苦** |
| 設備投資企業割合 | 設備投資実施の有無 | | |

## 例

人手不足▲50とは

| | |
|---|---|
| 人手 | (1)過剰 (2)やや過剰 (3)適正 (4)やや不足 (5)不足 |

⬇ 回答数を集計し、回答割合を算出

| | (1)過剰 | (2)やや過剰 | (3)適正 | (4)やや不足 | (5)不足 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 回答数 | 35 | 35 | 210 | 280 | 140 | 700 |
| 回答割合 | 5.0% | 5.0% | 30.0% | 40.0% | 20.0% | 100.0% |

人手不足＝　10　－　60　＝▲50

【問合せ先】
淡路信用金庫　業務部
担当：松下、濵田、樅木（もみのき）
TEL：0120-22-1020

## 業種別地区別天気図

| 業種＼地区 | 全事業地区（669先） | | | 淡路地区（384先） | | | 神明地区（285先） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 時期 | 2026年1～3月（前期） | 2026年4～6月（今期） | 2026年7～9月（見通し） | 2026年1～3月（前期） | 2026年4～6月（今期） | 2026年7～9月（見通し） | 2026年1～3月（前期） | 2026年4～6月（今期） | 2026年7～9月（見通し） |
| 総合 | | | | | | | | | |
| 製造業 | | | | | | | | | |
| 卸売業 | | | | | | | | | |
| 小売業 | | | | | | | | | |
| サービス業 | | | | | | | | | |
| 建設業 | | | | | | | | | |
| 不動産業 | | | | | | | | | |

好調← →低調

## 全業種

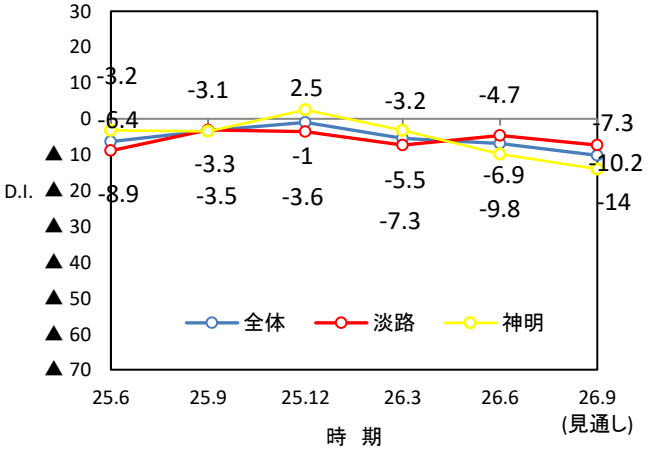
今期（2026年4～6月期）の業況判断D.I.は▲6.9と、前期（2026年1～3月期）▲5.5に比べ1.4ﾎﾟｲﾝﾄ悪化となる。項目別では、売上額は0.7(前期▲10.3)と11.0ﾎﾟｲﾝﾄの増加､収益は▲7.5(前期▲13.2)と5.7ﾎﾟｲﾝﾄ増加となった。販売価格では30.4(前期19.0)と11.4ﾎﾟｲﾝﾄ上昇、仕入価格も56.4（前期39.4）と17.0ﾎﾟｲﾝﾄ上昇している。

人手過不足については▲23.2(前期▲25.0)、来期は▲23.9と、変わらず大幅なマイナスの状態が続くことが見込まれる。資金繰りについては、▲5.2(前期▲8.2)と僅かであるが改善されている。

来期（2026年7～9月期）の業況判断D.I.については▲10.2と3.3ﾎﾟｲﾝﾄ悪化する見通しである。

業種別では、小売業が改善の見通しで、製造業、卸売業、建設業、不動産業は悪化を見込んでいる。

業況判断D.I.の推移（地区別）



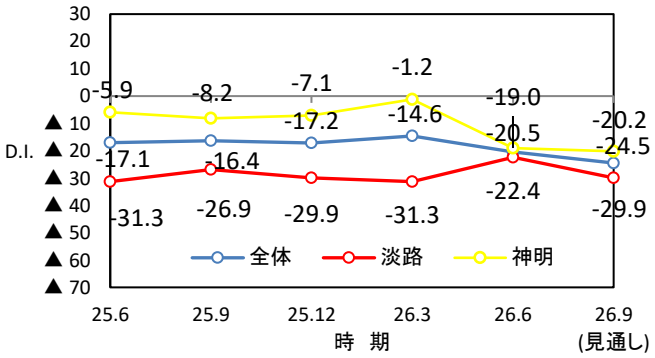

(D.I.)

| | 26年3月（前期） | 26年6月（今期） | 26年9月（見通し） |
|---|---|---|---|
| 業況 | -5.5 | -6.9 | -10.2 |
| 売上額(前期比) | -10.3 | 0.7 | -1.0 |
| 収益(前期比) | -13.2 | -7.5 | -9.6 |
| 販売価格(前期比) | 19.0 | 30.4 | 25.8 |
| 仕入価格(前期比) | 39.4 | 56.4 | 47.5 |
| 人手過不足(過剰－不足) | -25.0 | -23.2 | -23.9 |
| 資金繰り(楽－苦) | -8.2 | -5.2 | -6.6 |
| 設備投資実施企業割合(%) | 14.1 | 13.2 | 10.3 |

## 製造業

今期の業況判断D.I.は▲20.5（前期▲14.6）と5.9ﾎﾟｲﾝﾄの悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲22.4（前期▲31.3）と 8.9 ﾎﾟｲﾝﾄの改善、神明地区▲19.0（前期▲1.2）と 17.8 ﾎﾟｲﾝﾄの悪化となった。来期については、業況が▲24.5と4.0ﾎﾟｲﾝﾄ悪化見込みと予想、売上額は減少、収益は横ばいの見込みとなっている。

業況判断D.I.の推移（地区別）




### お客様の声

中東情勢の悪化による材料価格の上昇に加え、調達時期が不透明であり、更に長期化すれば業況の悪化に不安を感じている。値上げについては、同業他社の動向を注視し、慎重に実施する方針。　（淡路）

4～6月は米国関税措置や中東情勢の影響で売上・利益ともに低調な水準にあるが7月以降は反動で増加する見通し。大手主力先が求める生産能力や技術力を維持していくためには絶えず設備更新を要するため補助金活用による導入を検討している。（神明）

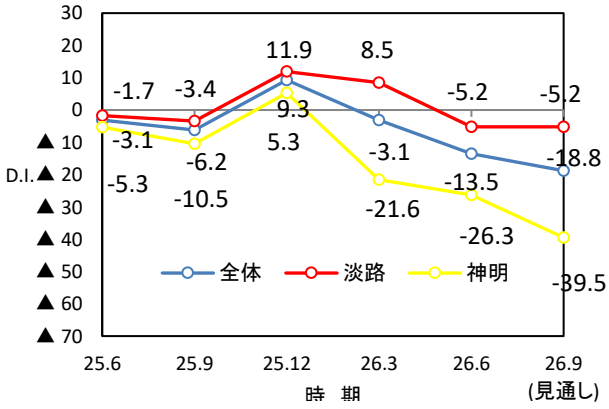
（D.I.）

| | 26年3月（前期） | 26年6月（今期） | 26年9月（見通し） |
|---|---|---|---|
| 業況 | −14.6 | −20.5 | −24.5 |
| 売上額（前期比） | −23.2 | −13.9 | −19.9 |
| 収益（前期比） | −26.5 | −25.8 | −25.8 |
| 販売価格（前期比） | 20.5 | 34.0 | 32.2 |
| 仕入価格（前期比） | 48.3 | 74.8 | 58.9 |
| 人手過不足（過剰－不足） | −31.8 | −23.8 | −23.2 |
| 資金繰り（楽－苦） | −13.9 | −5.3 | −7.9 |
| 設備投資実施企業割合（%） | 13.2 | 13,2 | 8.6 |

## 卸売業

今期の業況判断D.I.は▲13.5（前期▲3.1）と10.4ﾎﾟｲﾝﾄの悪化となった。地区別の業況は、淡路地区▲5.2（前期8.5）と13.7ﾎﾟｲﾝﾄの悪化、神明地区は▲26.3（前期▲21.6）と4.7ﾎﾟｲﾝﾄの悪化となる。来期については▲18.8と5.3ﾎﾟｲﾝﾄ悪化の見込みである。売上額については増加の見込みであるが、収益については減少する見込みである。

業況判断D.I.の推移（地区別）




### お客様の声

今季は淡路島産玉葱が豊作で取引価格は前年を下回っており、北海道産玉葱の生育状況により相場価格の変動が予想されるが、取引先との価格交渉を随時行い、更なる収益確保に努めていく。（淡路）

ナフサショックにより左官工事に要する接着剤が一部メーカーを除いて販売停止しているため、納品量が低下。また酷暑や人手不足対策で現場の工期も長期化にあり業況は低調しているが、来期はIR事業の大規模受注が見込まれる。　（神明）

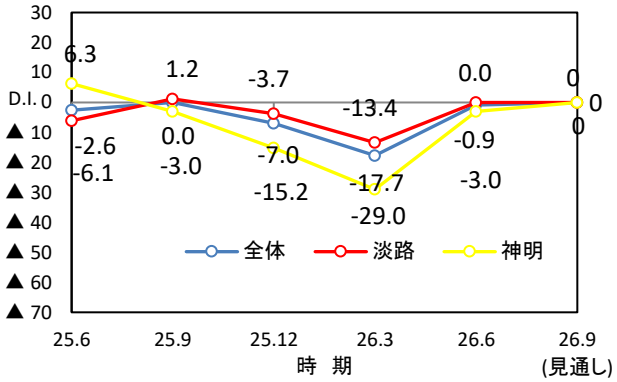
（D.I.）

| | 26年3月（前期） | 26年6月（今期） | 26年9月（見通し） |
|---|---|---|---|
| 業況 | −3.1 | −13.5 | −18.8 |
| 売上額（前期比） | −9.4 | −4.2 | 1.0 |
| 収益（前期比） | −13.5 | −6.3 | −9.4 |
| 販売価格（前期比） | 21.9 | 22.9 | 34.4 |
| 仕入価格（前期比） | 30.2 | 35.4 | 39.6 |
| 人手過不足（過剰－不足） | −17.7 | −14.6 | −15.6 |
| 資金繰り（楽－苦） | 0.0 | 0.0 | −1.0 |
| 設備投資実施企業割合（%） | 14.6 | 9.4 | 6.3 |

## 小売業

今期の業況判断 D. I. は▲0. 9(前期▲17. 7)で 16. 8 ﾎﾟｲﾝﾄの改善となった。地区別では、淡路地区は 0. 0(前期▲13. 4)と 13. 4 ﾎﾟｲﾝﾄ改善、神明地区は▲3. 0(前期▲29. 0)と 26. 0 ﾎﾟｲﾝﾄ改善している。来期の業況は 0. 0 と 0. 9 ﾎﾟｲﾝﾄの改善見込みであり、売上額・収益についても今期より増加する見通しとなっている。

業況判断 D. I. の推移（地区別）




### お客様の声

仕入コストは上昇しているが価格転嫁は出来ている。中東情勢悪化の影響は大きく出ていないが今後の動向には注視している。経営課題は人材不足であるため積極的な採用活動を実施している。（淡路）

価格転嫁に伴い顧客が離れてしまう懸念があり、価格転嫁が難しい状態である。仕入先の肥料が中東情勢の景況を受け値上がりするなど、利益率の低下がさらに進む可能性がある。（神明）

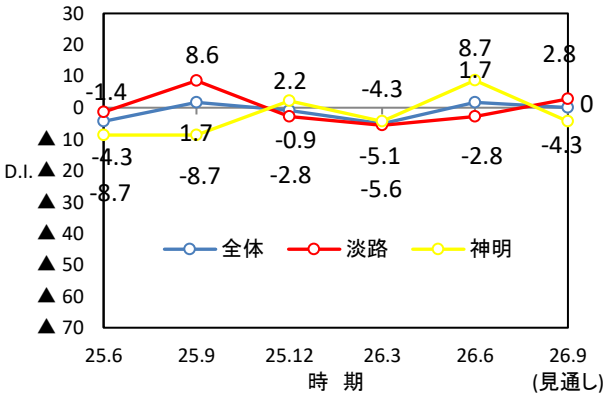
（D.I.）

| | 26年 3月（前期） | 26年 6月（今期） | 26年 9月（見通し） |
|---|---|---|---|
| 業況 | −17.7 | −0.9 | 0.0 |
| 売上額(前期比) | −19.5 | 7.0 | 15.7 |
| 収益(前期比) | −23.9 | −7.0 | 0.0 |
| 販売価格(前期比) | 15.0 | 33.9 | 24.3 |
| 仕入価格(前期比) | 32,7 | 53.0 | 44.3 |
| 人手過不足(過剰ー不足) | −15.0 | −14.8 | −17.4 |
| 資金繰り(楽ー苦) | −15.9 | −14.8 | −13.9 |
| 設備投資実施企業割合(%) | 7.5 | 7.0 | 7.0 |

## サービス業

今期の業況判断 D. I. は 1. 7(前期▲5. 1)となり 6. 8 ﾎﾟｲﾝﾄ改善となった。地区別の業況は、淡路地区▲2. 8(前期▲5. 6)と 2. 8 ﾎﾟｲﾝﾄの改善、神明地区は 8. 7(前期▲4. 3)で 13. 0 ﾎﾟｲﾝﾄの改善となる。来期の業況は 0. 0、売上額 8. 5、収益 6. 0 と改善見込み、人手過不足は▲30. 8 と高い水準で不足が続く見通しである。

業況判断 D. I. の推移（地区別）




### お客様の声

前年度は万博によるインバウンド需要で増収となっていたが今年度は例年並みで推移する見込み。仕入価格上昇分を販売価格に転嫁できているが、ドライバー不足が課題である。（淡路）

当面の課題として人手不足が挙げられ、人材募集を掛けているが効果は薄い。従業員の負担が増加している状態にある為、賃金の引上げで対応し、離職防止及びモチベーション維持を図っている。（神明）

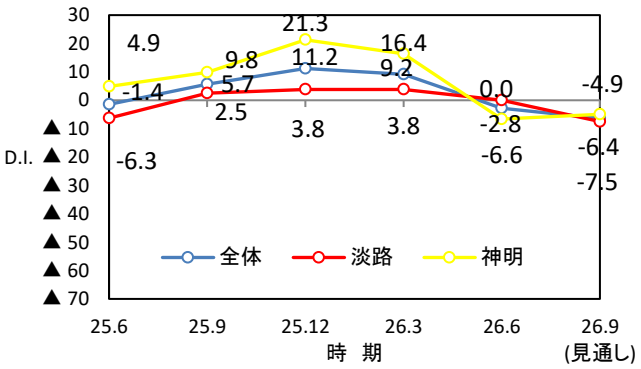
（D.I.）

| | 26年 3月（前期） | 26年 6月（今期） | 26年 9月（見通し） |
|---|---|---|---|
| 業況 | −5.1 | 1.7 | 0.0 |
| 売上額(前期比) | −16.2 | 10.3 | 8.5 |
| 収益(前期比) | −13.7 | 1.7 | 6.0 |
| 販売価格(前期比) | 14.5 | 29.1 | 17.1 |
| 仕入価格(前期比) | 34.2 | 46.2 | 35.9 |
| 人手過不足(過剰ー不足) | −25.6 | −30.8 | −30.8 |
| 資金繰り(楽ー苦) | −8.5 | −8.5 | −6.0 |
| 設備投資実施企業割合(%) | 19.7 | 19.7 | 16.2 |

## 建設業

今期の業況判断 D.I.は▲2.8(前期 9.2)と 12.0 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化となった。地区別の業況は、淡路地区は 0.0（前期 3.8）とほぼ横ばい、神明地区は▲6.6（前期 16.4）と 23.0 ﾎﾟｲﾝﾄの悪化となった。来期の業況は▲6.4 と悪化の見通しである。人手過不足については、▲34.8 で慢性的な人手不足の状態が継続する見通しである。

業況判断 D.I.の推移（地区別）




**お客様の声**

現在は個人住宅のリノベーション工事のほか、商業・宿泊施設の改修工事等を手がけている。資材価格の高騰、メーカーの受注停止の影響を受け、工期の目途が立たず見積もりが出せない状況にある。（淡路）

材料費高騰、外注費負担については転嫁・交渉を行っているが思うような改善が進んでいない。また慢性的な人手不足は深刻な問題であり、外国人労働者の雇用により対応している。（神明）

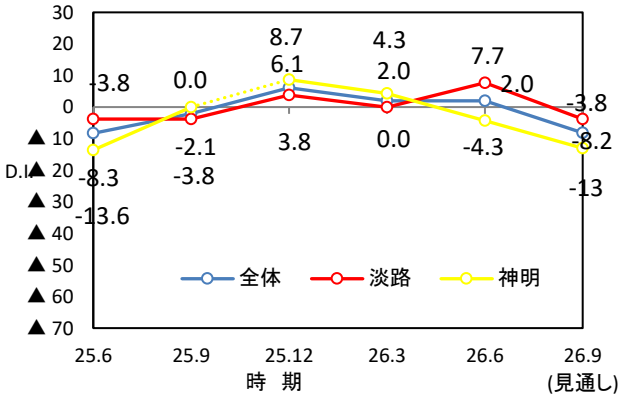
（D.I.）

| | 26年 3月（前期） | 26年 6月（今期） | 26年 9月（見通し） |
|---|---|---|---|
| 業況 | 9.2 | −2.8 | −6.4 |
| 売上額(前期比) | 11.3 | 3.5 | −3.5 |
| 収益(前期比) | 6.4 | −3.5 | −14.9 |
| 販売価格(前期比) | 23.4 | 34.0 | 26.2 |
| 仕入価格(前期比) | 50.4 | 72.3 | 61.7 |
| 人手過不足(過剰－不足) | −35.5 | −34.8 | −34.8 |
| 資金繰り(楽－苦) | −4.3 | −0.7 | −5.7 |
| 設備投資実施企業割合(%) | 14.9 | 15.6 | 12.8 |

## 不動産業

今期の業況判断 D.I.は 2.0(前期 2.0)と横ばいで推移。地区別の業況は、淡路地区は 7.7（前期 0.0）と 7.7 ﾎﾟｲﾝﾄ改善、神明地区は▲4.3（前期 4.3）8.6 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化となった。来期の業況予想は、▲8.2 と 10.2 ﾎﾟｲﾝﾄ悪化、売上額・収益も減少の見通しとなっている。

業況判断 D.I.の推移（地区別）




**お客様の声**

賃貸物件は入居者の入れ替わりが少なく、退去に伴う原状回復工事や修繕費用等の収入が減少。人口増加に繋がるような暮らしやすい街づくりに対する政策、補助金等に期待したい。（淡路）

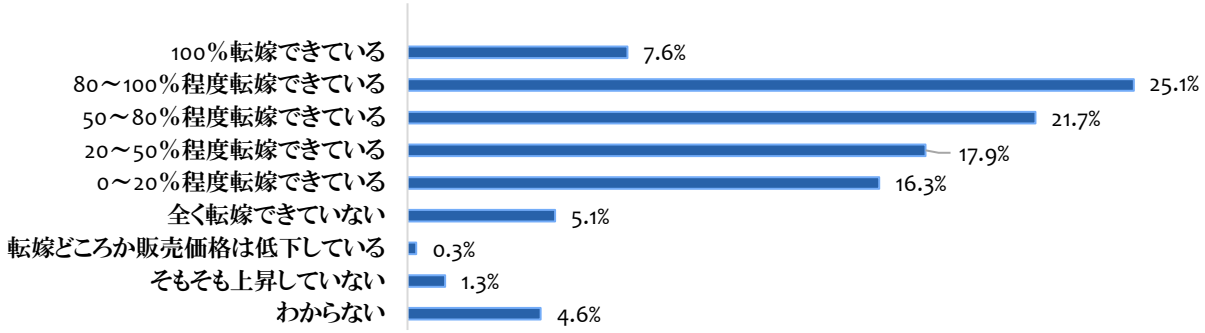
旺盛な不動産市況から、リノベ再販を中心に売上は好調を維持。資材等高騰しているが販売価格に転嫁できている。商品物件の仕入価格も上昇傾向にあり、採算の会う物件は減少していることから、商品在庫は不足気味である。（神明）

（D.I.）

| | 26年 3月（前期） | 26年 6月（今期） | 26年 9月（見通し） |
|---|---|---|---|
| 業況 | 2.0 | 2.0 | −8.2 |
| 売上額(前期比) | 0.0 | 10.2 | −2.0 |
| 収益(前期比) | −2.0 | 12.2 | −4.1 |
| 販売価格(前期比) | 16.3 | 18.4 | 12.2 |
| 仕入価格(前期比) | 26.5 | 26.5 | 22.4 |
| 人手過不足(過剰－不足) | −10.2 | −6.1 | −10.2 |
| 資金繰り(楽－苦) | 0.0 | 2.0 | 0.0 |

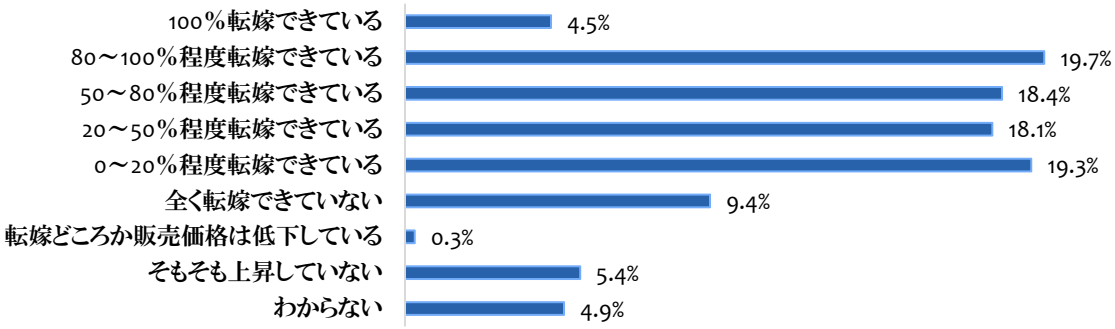
【問 1】. 近年、取引条件の適正化を促進する政策的な動きが活発化しています。ここ数年（2020 年ごろから）の原材料・仕入価格の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。

原材料・仕入価格の上昇分を転嫁できていると回答する合計は 88.6%であるが、100%転嫁できているとの回答は 7.6%であり、全く転嫁できてないとの回答は 5.1%、低下している他の合計は 6.2%であった。



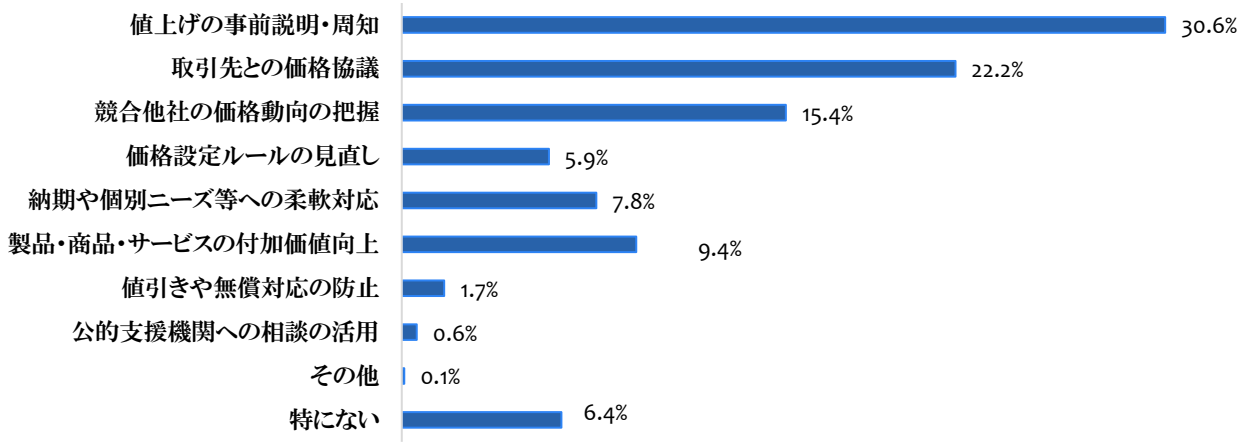

【問 2】. ここ数年（2020 年ごろから）の労務費・人件費の上昇分を、どの程度販売価格に転嫁できていますか。

労務費・人件費の上昇分を転嫁できているとの回答は合計で 80%であるが、100%転嫁できているとの回答は 4.5%であり、全く転嫁できていないとの回答は 9.4%、低下している他の合計は 10.6%であった。



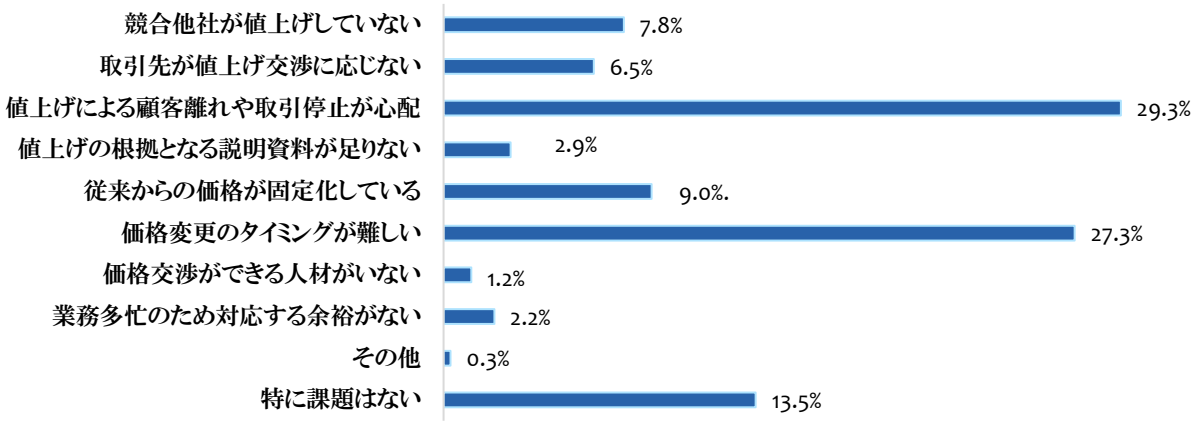

【問 3】. 取引先との円滑な価格交渉・価格転嫁を進めるために、重視している取組みは何ですか。3 つ以内で選んでお答えください。

円滑な価格交渉・価格転嫁を進める為には事前説明・周知を重視していると回答した割合は 30.6%あり、次いで価格協議が 22.2%、合計で 52.8%と過半数を超えおり、事前の交渉が重要であると思われる。



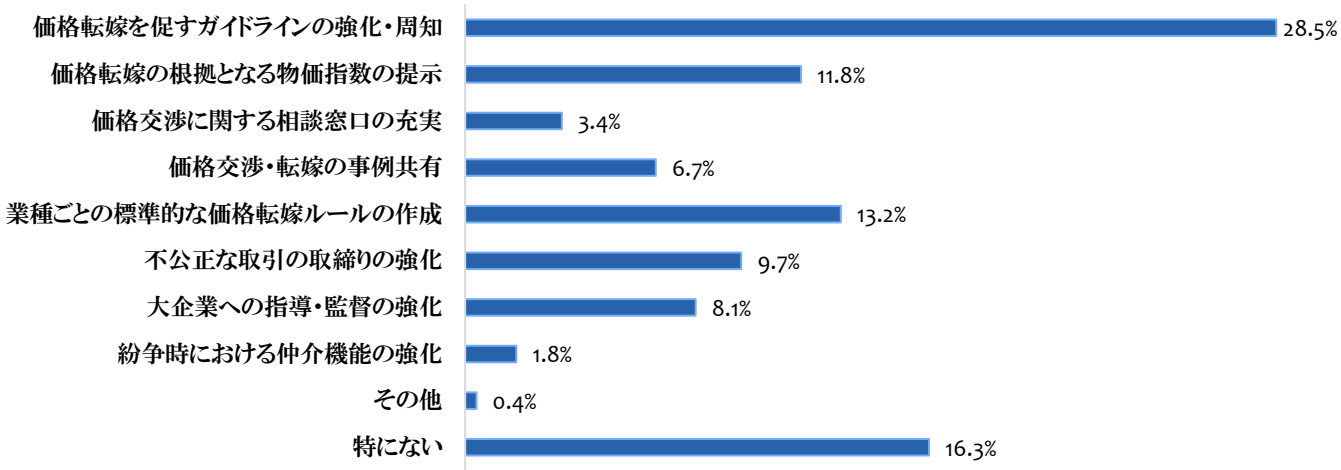
【問 4】. 価格転嫁を進めるうえでの課題は何ですか。3 つ以内で選んでお答えください。

価格転嫁の課題として、顧客離れ・取引停止が 29.3%、価格変更のタイミングが 27.3%と高く、値上げ後の動向に不安があると思われる。




【問 5】. 円滑な価格交渉・価格転嫁を進める上で、行政に重視してほしいと感じる取組みはありますか。3 つ以内で選んでお答えください。

価格転嫁を進める上で、行政に期待している事としてガイドラインの強化・周知が 28.5%と高いが、特にないとの回答も 16.3%と比較的高い割合である。



わたしたちのマチの元気企業59

## 株式会社さの小

# さの小テラス

— 廃校を、もう一度まちの灯りに。
淡路島東海岸の交流拠点 —

旧佐野小学校を活用した複合施設

弊社は、淡路市佐野地区にある旧淡路市立佐野小学校を活用し、地域の交流拠点「さの小テラス」を運営しています。

佐野小学校は、地域の子どもたちを長年見守ってきた歴史ある学校でしたが、2017年に閉校となりました。校舎から子どもたちの声が消え、地域のにぎわいも少しずつ薄れていくなかで、「この場所をもう一度、人が集まる場所にしたい」という思いから、地元の皆さまのご理解と応援をいただきながら、2023年に複合施設として新たな一歩を踏み出しました。

さの小テラスでは、校舎の面影を大切に残しながら、淡路島の食・文化・学び・交流を楽しめる場所づくりに取り組んでいます。1階には、地元産の野菜、魚、わかめなどを使った食事を提供する「さのカフェ」や、淡路島で採れた農産物・海産物が並ぶ産直スペースがあります。また、しらすやわかめなど、地元の海の恵みを身近に感じていただける加工・見学スペースも備えています。

海の見える校舎

さのカフェ

2階・3階には、キッチンスタジオ、和室、音楽室、レンタルスペース、シェアオフィスなどを設け、料理教室、文化活動、会議、イベント、講演会、映画上映など、さまざまな用途でご利用いただけます。昔の教室を再現した「昭和の教室」では、卒業生の方には懐かしく、初めて訪れる方には新鮮な、学校ならではの空気を感じていただけます。

毎月開催している鮮魚市や、地域の方々による催し、カルチャースクールなどを通じて、さの小テラスは観光施設であると同時に、地元の皆さまが気軽に集える「まちの縁側」のような場所を目指しています。

テラス席でのひととき

地域イベント

淡路島を訪れる方には、島の魅力を知っていただく入口として。地元の方には、日常のなかで人と人がつながる居場所として。これからも、廃校となった校舎に新しい役割を吹き込み、佐野地区、そして淡路島東海岸の活性化に貢献してまいります。

### みんなの「学び」と「つながり」の場へ

学校だった場所が、いま、
人が集い、笑顔が生まれる場所に。
さの小テラスは、これからも地域とともに
歩んでいきます。

### 株式会社さの小／ さの小テラス

〒656-2212 兵庫県淡路市佐野900
TEL：0799-70-9113
営業時間：9:00～17:00
定休日：毎週火曜日
駐車場：普通車56台・大型車3台・二輪車10台


どうぞお気軽にお立ち寄りください！

わたしたちのマチの元気企業60

# 理研サッシ販売株式会社

## 窓・ドアの専門店として
## 住まいの快適を支える会社です。

昭和 48 年創業。長年の経験で培った知識と技術を活かし、**「窓・ドアの改修工事」** に力を入れております。
マンション・戸建てを問わず、古くなったサッシや玄関ドアを最新の断熱性能を持つ製品へ交換します。1 日で完了する工事も多く、お施主様の工事中のストレスも最小限に抑えられます。
また、サッシの建付けが悪い・網戸が破れている・鍵がかかりにくいなどの日常のちょっとしたストレスを解決するお手伝いをいたします。

工事前　　工事後

**お風呂の折戸（浴室ドア）交換**もお手軽に交換できます。
古くなったお風呂のドアが「開け閉めしづらい」「パネルが割れた」「カビが取れない」といった理由で交換を検討されるお客様が増えていますが、 実は **お風呂全体をリフォームする必要はありません。既存の枠を活かす「カバー工法」により、 壁や浴槽を壊すことなく 最短 1 日で交換が完了します。**

工事前　　工事後

## これからも、地域の住まいを快適に

私たちは、窓・ドアのプロとして、 お客様の暮らしをより快適にする提案と施工を続けていきます。 住まいのお困りごとは、ぜひお気軽にご相談ください。


**理研サッシ販売株式会社**

神戸市兵庫区上庄通 2-3-8
TEL:078-651-2901
FAX: 078-651-2915
Email : tnha0327@gmail.com